

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第144号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年4月16日 07時10分ごろ	
発生場所	千葉港葛南区市川灯台から真方位119°3,325m付近	
事故等調査の経過	平成21年6月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 油送船 ^{こうよう}康洋丸、699トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 133068、日宣汽船株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船尾船底の中央部から右舷側にかけてのペイントが剥離	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか6人が乗り組み、軽油約2,000klを積載し、船首約4.0m、船尾約5.0mの喫水で、千葉港葛南区の新日本石油栈橋に向け、市川航路を航行中、同航路を南進する小型船を避けるため航路の右側に寄ったところ、平成21年4月16日07時10分ごろ、船底が海底に接触した。</p> <p>本船は、機関を停止させ、船体内外を調べたが異状がなく、そのまま着栈して揚荷を終えた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 3</p> <p>海象：潮汐 高潮時</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、市川航路を航行中、反航する他船を避航する際、船位の確認を適切に行わなかった可能性があると考えられる。</p> <p>市川航路は、航路幅が約230mである。</p>
原因	本事故は、本船が市川航路を航行中、反航してくる他船を避航する際、船位の確認を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	